

高松市立木太北部小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自ら学び心豊かでたくましい子どもの育成

【本校の課題】

- 男女とも、多くの学年でソフトボール投げ、長座体前屈、握力の値が低く、県・全国平均を下回っている。
- 積極的に外遊びをしている児童と、そうでない児童が二極化している。

【現状】

休み時間等には元気よく運動場で遊ぶ児童が多く見られる一方、なかなか外で遊ぶことができていない児童もいる。暑い時期には熱中症の心配もあるが、外遊びをする多くの子どもたちがボールを使った遊びが中心となり、遊具などで遊ぶ姿はあまり見られない。

体育の授業においては、2種類の「がんばりカード」を一人一人に持たせ、縄とびや持久走と、それぞれの種目で記録に挑戦しているが、学年ごと達成率にはばらつきがある。

【取組み】

〈育てたい資質・能力〉

【見つめる】 自分の課題を知り、粘り強くチャレンジしようとする。

【かかわる】 友だちと関わりながら運動を楽しもうとする。

【つくりだす】 自分の記録に挑戦し、自己ベストを目指そうとする。

毎月第2月曜日はドリームタイム

毎月第2月曜日に「ドリームタイム」として昼休みの時間を35分に延長しており、しっかり外遊びができるようにする。



がんばりカードの活用

なわとびカードや日本一周マラソンカードなど、自分の伸びやがんばりが見えるカードを活用することで、児童の意欲面や技能面を伸ばそうとしている。友だちとの関わり合いも期待する。



「朝のマラソンタイム」の設定

3学期は、朝の活動に「マラソンタイム」を行う。（朝の自主マラソン・始業前・業間（3学年ごと）マラソンに挑戦することで、自分自身の体力を高めることや達成する喜びを味わえるようにする。



子ども発信であそびの奨励

体育委員会の子どもの発案による、チャレンジ種目を設定し、子どもたちが積極的に運動しようとする場づくりを行う。



学期ごとに重点的な取組み

体育の授業で学んだことや身につけた技能を発揮する機会を設ける。クラスマッチやチームを作って大会、記録会など各学年で工夫し、自分や友だちと成果を味わう機会を学期ごとに取り入れる。

【目標】

- がんばりカードの達成率を令和4年度末までに60%まで引き上げる。
- 「1日1度は外に出て外遊び」を体育委員会で推奨し、友だちとかかわり合いながらたくましい体をつくっていかうとする子どもを育成する。
- 「Kagawa2022 体力番付」を積極的に活用し、子どもたちの運動機会を増やす。